

Operating System Maniacs

Version 8.0

-Boot Menu-

03 Historical UNIX

14 Minor Operating System Collection

テーマ:Historical UNIX

UNIX自体は当然のことながらマイナーOSというような代物ではありませんが、過去、いくつものUNIXクローン、あるいはバリエーションが数多リリースされました。

UNIX、という表現ですと、やはり商用、プロプライエタリ、サーバOS、というようなイメージがあります。Linuxがフリーであることからなのかもしれませんが。

UNIXの細かい歴史的経緯などは様々なところに詳しく書かれていますので、その辺はおいといて、マイナーというよりは、歴史の中に埋もれていったUNIXやUNIXクローンといったものを今回の記事では取り上げたいと思います。

特集 : Historical UNIX

立神梢一

1. AIX 1.3

AIXはそもそも現行のUNIXではないか？と思われるのではないかと思います。

実際、現在も7.1が最新リリースとして存在していますし、メジャーとはいえないかもしれませんがマイナーではないと思います。

本稿で取り上げるのは、AIXの1.3 (Version1.x)になります。

IBM 社の UNIX オペレーティングシステム、AIX (Advanced Interactive Executive) は上記の通り現在も発売されています。

UNIX System V Release 3 (SVR3) ベースの UNIX で、現行 version でのサポートアーキテクチャは POWER 系の CPU を搭載したサーバになります。(POWER4、POWER5、POWER6、PowerPC 970、POWER7)

ではなぜ取り上げたかということ、1986年に登場した AIX V1 は IBM RT-PC で動作しており、また PS/2 Micro Channel Architecture PC での動作もしておりました。

この後、サポートアーキテクチャを変遷していくのですが (PowerCPU を搭載した MAC でも動いていた時代がありますね)、AIX の 1.3 を入手したのが、記事のきっかけでした。

もっとも、サポートアーキテクチャが先ほども記載しましたが

- ・ IBM PS/2 Micro Channel Architecture PC
- ・ IBM RT。

の 2 つしかなく、残念ながら動作する環境を入手できませんでした。

- ・・・というわけで初っ端からすいませんがインストール試験はできていません。

なお閑話休題ではありますが、現行 version は一応 AIX v6.1、v7.1 および Power5 マシンを所持しており、実験というよりも実環境として稼働させられればなぁと考えてはおります。(マイナーOS コレクションにメディア写真を掲載しております)

2. BANYAN VINES

前号でも駆け足レビューで取り上げていますが、Historical UNIX関連に興味を持ったきっかけでもあるので改めて取り扱います。

前回、インストールの一連の作業をご紹介したのですが、起動後、カーネルパニックに陥りました。その後調査したところ、以下の制限によるものと判明しました。

- ・メモリ System Vの制限上最大96MBまで
- ・HDD 0.4GB(409MB)以下、IDEで作成の必要がある。最初に全ての領域を割り当てておく。
(後者は必須かはわかりませんがそのほうが無難なようです)
- ・CPUは1プロセッサのみサポートしています。

仕様以外では、以下の作業が必要になります(下記実例はVMWareでのもの。実機でも同様と思いますが細かい表記等は差分があるかもしれません)

VMWare限定: ゲストOSの種別は必ず「Other」を選択して下さい。シェアフォルダやゲストアイソレーションオプションを無効にする必要があるためです。

起動後: F2キーを押してBIOSセットアップに入ります。(これ慣れないと早すぎてなかなか入れなかったりします)

プライマリマスタを選択し、“Type”を“User”に設定します。

“LBA Mode Control”を“disable”に設定し、“32 Bit I/O”も“disable”に設定します。

Disableにしておかないと、起動時にカーネルパニックを起こすらしいです。

前号では初回起動時にカーネルパニックに陥ってしまったので、再度インストールをいたしました。

通常インストール部分は前回に準じますので省略します。

前回NGだったサーバ再起動後の画面からです。

```
BANYAN NETWORKING SOLUTION
Loading...._
```

起動中の画面です。


```
Checking condition of the /disk1 file system...BAD
The /disk1 file system needs to be repaired.
Attempting to repair /disk1 file system..._
```

なぜか毎回fsck?画面が出てしまいます。VMWareだからなのか、何かやり方がまずいのかはわかりませんが、もしかすると何かしらまだ必要な作業があるのかもしれません。

```

                Password Installation Menu

1.  UNIX access for Banyan only.
2.  UNIX access for Network Administrator only.
3.  UNIX access for both.

Enter "?" for HELP
Enter your choice: _
```

パスワード設定関連画面です。
基本的には「3」を選択すればよいと思います。

```
*****
WARNING:  Your selection allows you to set a password for access to UNIX, and
          allows Banyan to dial into your server in the event of an emergency.
```

If, at a later date, you decide to restrict access to UNIX on this server, you must re-install the server software.

Before proceeding, carefully read the following terms and conditions. indicate your acceptance of these terms and conditions by typing "Y" or your non-acceptance by typing "N".

CAUTION: IMPROPER USE OF THE ENHANCED UNIX ACCESS FEATURE MAY RESULT IN A LOSS OF DATA AND FILES. DO NOT ATTEMPT TO UTILIZE THIS FEATURE UNLESS YOU HAVE READ THE ENHANCED UNIX ACCESS GUIDE AND FULLY UNDERSTAND HOW TO IMPLEMENT THE PROGRAMS. IF YOU HAVE ANY QUESTIONS, PLEASE CONTACT YOUR BANYAN SUPPORT REPRESENTATIVE.

The Enhanced UNIX Access feature does not allow you to modify or use the UNIX programs other than for the purpose and in the manner set

Press enter to display the rest of this notice. _

forth in the Enhanced UNIX Access Guide. This feature is provided to you "as is". Banyan disclaims any and all warranties, either express or implied, including but not limited to the implied warranties of merchantability or fitness for a particular purpose or use. Banyan will not be liable to you, or to any third party, for any direct damages in excess of the amount of fees that you have paid for the VINES/ENS software product which is the subject of a specific claim, or for any other damages, including incidental, special, indirect, cover or consequential damages arising out of the use of the programs even if Banyan has been apprised of the possibility of such damages, or of any claim by any other party.

By typing "Y", you acknowledge that you have read, understand and have agreed to the above terms and conditions for use of the Enhanced UNIX Access feature.

If you do not agree with the above terms and conditions or do not wish to access the Enhanced UNIX Access feature, type "N" now.

```
*****
Do you want to continue [n]? _
```

パスワード設定に関する注意事項が2画面続きます。「y」を入力して進めます。

```
Number of previous root passwords that cannot be re-used (1-20,none) [10]: none
Minimum password length (1-15,none) [none]: none
Password expiration in weeks (1-52,never) [never]: never

Number of previous root passwords      : none
Minimum password length                 : none
Password expiration in weeks            : never
Is this information correct (y/n) [y]: y_
```

上記は先頭3行枚に1画面ずつ遷移するのですが、ここでは割愛して3行目まで入力を進めた後の画面キャプチャになります。

パスワードの再利用制限を細かく設定できるようです。

```
Please enter the new password for root access:
Please retype new password: _
```

これはどのUNIXでもありがちなパスワード入力画面です。

```
No tape drive found.  
No CD-ROM drive found.
```

```
Release media type will be diskettes. Is this correct? [y] y
```

This procedure will install your disks using the following parameters:

```
Banyan Server Software Version.....8.50 (0)  
Banyan Client Files Load.....DOS  
Enterprise Backup/Restore (EBR) Files...INCLUDED  
Banyan Release Media Type.....diskettes
```

```
Do you wish to continue? (y/n): _
```

インストール続行について問い合わせをされます。

```
/install/fullinstall: test: argument expected
```

```
Error occurred during installation ... Installation Aborted.  
You may reboot the server and try again.
```

```
root password: _
```

・・・で最終インストール、と行きたかったのですが、どうもうまくいきません。

上記で失敗したあとに「Ctrl+c」で一応ルートユーザーでログインでき、多少なりのコマンドは打てるのですが、どうもしっくりきません。その状態から再起動後も、再度パスワード設定からの画面になってしまいます。まだ調査中なので確証はないのですが、どうもハードウェアドングルが必要なのではないか、というのが今のところの推測です。

※そういえば、類似のネットワークOSで、イギリス製のTHEOSというのがありますが(こちらは一応現行OSのようですが)、ハードウェアドングルが動作に必要になっていましたので、同じようなことをしているのかもしれませんが。

というわけで、インストールめいたことはなんとか完了するも、全うに動かすのは相当に難しい、という結論になってしまいました。

3. Coherent

Marc Williams 社製の UNIX ライクな OS です。

なお、Marc Williams 社は 1995 年に解散しておりますが、今年になって OpenSource 化されたそうです。(元々はクローズドソースのプロプライエタリ OS)

BSD ライセンスでオープンソースになったらしくある意味タイムリーかもしれません。

http://www.osnews.com/story/28443/Coherent_UNIX_clone_goes_Open_Source

いわゆる UNIX クローンなのですが、他のソースコードをパクったりとかそういうことはないらしいです。(英語版 Wikipedia および上記 URL)

<http://www.nesssoftware.com/home/mwc/source.php>

より、マニュアル、バイナリ、ソースコードなど丸々一式が入手できます。

動作についてですが、時間が無いなりにVMware Playerでインストールを試みましたが、FDD イメージを読み込んだ状態で下記のように起動はするのですが

```
COHERENT Tertiary boot Version 1.2.7
If installing COHERENT, please type "begin".
? _
```

上記の指示通り、"begein" と打ち込んだ後、

```
*** COHERENT Version 4.2.10 - 386 Mode. 12528KB free memory. *** i
Color. NDP=486. 4528 buffers. 4523 buckets. 64 clists.
416KB kalloc pool. 0 KB phys pool.
Cyrix OEM CPU Detected
Copyright 1982, 1994 Mark Williams Company
-
```

上記画面のままうんともすんとも言わなくなっていました。

ググってみたところ、Coherent は Swap を持っておらず、かつディスク周りの処理に難があるのか、ドライバの問題なのか、仮想環境での起動はかなり苦戦することが判明しています。

qemu 用のイメージがインターネット上では入手でき、これを特定の Version 以上のもので起動すると、それなりに動作するとの情報までは入手できています。

以下、実際には実験できていないので未確認情報として参考までに記載します。

Qemu 環境が整備できていないので、環境がそろえられたら再度実験してみたいと考えております。

- ・ Coherent のディスクイメージを入手する

<http://thebeez.home.xs4all.nl/4tH/Coherent-4.2.10-image.tar.gz>

- ・ 解凍し、以下の 2 ファイルがあることを確認し、qemu で起動する

ファイル : coherent.public.img fat16.dd

qemu-system-i386 -hda coherent.public.img -fda fat16.dd -m 16

Coherent は前述の通り Swap を持っていないことから、起動時にディスクキャッシュを行ったりなんだりする関係上、ものすごく起動、終了に時間がかかるとのことで(少なくとも 10 分以上) [CTRL]-[ALT]-2 を押して以下のコマンドを入力し、起動までの状況を見ることで一応動いているのを確認するのがベターなようです。

info blockstats

rd_bytes が 600,000 に達したところにログイン可能になるとのことです。

なお、Qemu 利用の場合、スナップショット機能を利用することで、この待ち時間は改善できるようです。

なお、Old Unix にありがちなこととして、現状の UNIX、Linux では改善されている数々の問題が残存したままです。

ちょっとあげただけでも

- ・ 2 ドライブまでしかサポートしていない。

- ・ ディスクアクセスは非常に遅い。
- ・ シンボリックリンクはサポートされていない。
- ・ クロスデバイスリンクはサポートされていない。
- ・ X ではシリアルマウスのみサポート。
- ・ xterm ではバックスペースと vi は動作しない。
- ・ シャットダウンコマンドは shutdown halt|reboot (例 : shutdown halt 0) の形式で実行し、ルートディレクトリで実行の必要がある。
- ・ GCC は、.C 拡張子の C++ソースが必要。
- ・ 14 文字のファイル名の制限がある。
- ・ ファイルシステムが非常に脆弱というか繊細で、不意の再起動は、ファイルシステムに深刻な影響を与えかねず、かつ fsck は起動時に自動的に実行されず、その上、手動で実行すると、延々破損したファイルを削除するように要求されてしまう。
(要するにディスク周りがよわっつい)
- ・ Y2K 問題が山積みのまま残されている。

・・・ まあ 1995 年に解散した会社の出していた OS に何を求めるんだという話なのですが、実験するにあたってこのあたりはちゃんと把握しておかないと延々失敗しかねないのであえて書かせていただきました。
(Qemu 利用時でも、たとえば起動中にソフトウェアを強制終了させたりすると、ディスクイメージ自体が簡単に破損してしまうようです)

で、ちょっとさわりだけでもやってみようかと思ひまして、試してみました。

Coherentのイメージは上記URLのものをダウンロードし、Qemuについては

qemu-w64-setup-20141210.exe

をダウンロードして利用してみました。

適当なディレクトリに

- ・ coherent.public.img
- ・ fat16.dd

を格納し、ファイル格納ディレクトリで以下を実行しました。

パス通してないところでやったのでドライブレターから入れてますがパス通してれば関係ないはずです。先ほどの実行コマンドの頭に実行ファイルのパスを書いただけのものです。

"C:\Program Files\qemu\qemu-system-i386" -hda coherent.public.img -fda fat1

6.dd -m 16

すると、Qemuのバージョンが新しいことも幸いしたのか？あっさりと起動してしまいました。

```
SeaBIOS (version rel-1.7.5.1-0-g8936dbb-20141113_115728-nilsson.home.kraxel.org)

iPXE (http://ipxe.org) 00:03.0 C980 PCI2.10 PnP PMM+00F93AC0+00EF3AC0 C980

Booting from Hard Disk...
Mark Williams
Drive 0
Partition 0

COHERENT Tertiary boot Version 1.2.7
Press <SPACE> to abort boot.
-

rootdev = (11,0)
pipedev = (11,0)
com1 port 3F8: 16550A - FIFO      com2 port 2F8: no UART
com3 port 3E8: no UART          com4 port 2E8: no UART
Using INT 0x41 drive 0 parameters
at0: ncyl=81 nhead=16 wpcc=65535 eccl=0 ctrl=200 landc=81 nspt=63
*** COHERENT Version 4.2.10 - 386 Mode. 12544KB free memory. ***
Color. NDP=486. 4528 buffers. 4523 buckets. 64 clists.
416KB kalloc pool. 0 KB phys pool.
Cyrix OEM CPU Detected
Copyright 1982, 1994 Mark Williams Company
Serial Number 532319371
Going multiuser...

Coherent 386 login: root
password:
Last login: Fri Feb 20 18:34:42 1970

You may use the software on this image free of charge for personal,
non-commercial use. You may NOT redistribute this image or the software
it contains without written permission from the copyright holder. The
software is provided on an "as is" basis without warranty of any kind.

root: _
```

すでにrootログインしたところまで表示していますが、画面中央あたりの

「Coherent 386 Login:」

までのところが、起動時に表示され、それ以降はログイン後に表示されたものです。

なお見ての通りですが2000年問題に非対応のため時刻が1970年になっています。

有志作成の上記イメージがあるため、単純に体験するだけであれば、かなり容易な状況になっているようです。

。。。以降、今回原稿に取りまとめるに至らなかったものを記載します。

4. NextStep

5. OpenStep

⇒まあOpenStepは言ってみればNeXTの後継なので同じようなものですが、一応バイナリ等入手済みなので記載しています。

ある程度情報は仕入れ終わっているのですが、それなりに情報が多い分取りまとめる時間が足りませんでした。

一応実績もあるようですし、記事にはしてみたいと思っております。

6. XENIX

⇒マイクロソフトのUNIX(実質はSCOの移植版ですが)として名前は知られている(というか、当方は存じませんがある程度のシェアを誇っていた次期があるそうですが)UNIXです。

インストールイメージは入手済みですがちょっとVmwareでテスト、というわけにも行かず、記事に起こすには至りませんでした。

Qemuでの動作実績があるようですので、その方向で試験ができれば、、と考えております。

いわゆるUNIX、UNIXクローン的なOSだけでもものすごい数があるのと、どうしても英語圏の情報が多いので当方のつたない語学力では調査が進まないところもあり苦戦しておりますが、ボリュームはあるので

その他のUNIX、UNIXライクOS

- ・調査中

UnixWare

⇒特別面白みがあるかどうかという問題もあります。SCO Open Serverとしてまだ現用品？

- ・過去に記事にしたもの

QNX

MINIX

⇒それなりにページを使っていたつもりですが、結局インストールのみに終わっているのがちょっともったいないかもしれません。ただHistoricalというくくりにはちょっと違うかもしれません。

- ・HWの関係上試験が難しい可能性のあるもの/情報のみ収集中

LUnix

Darwin

A/UX

Atari System V UNIX

VenturComm Venix/86

Dell UNIX

RISC/os

EWS-UX

⇒まさにHistorical UNIXというものばかりですが、上記にも書いている通り、HW的な問題やそもそもまだインストールメディア、バイナリ入手できていないものも多数あります。

非常に興味深いものも多いので、エミュレータ中心になるかもしれませんがもう少し探りを入れたいです。

というわけで、今回若干中途半端ですがこんなところですよ。現時点では次回も引き続きHistorical UNIXで原稿を起こしたいと考えております。

マイナーOSコレクション

というわけで、手持ちのマイナーOSなどのコレクション的なものの写真掲載コーナーです。部屋の片付けがなっちゃないもので、出てきたものを手当たり次第にやってる感じが。あと、写真自体が不鮮明だったりするものもありますがその辺りは素人仕事ということで勘弁していただければ。

なお、なるべくHistorical UNIX特集に沿った感じでチョイスをしました。

1. AIX6.1、7.1



わざわざeBayで購入したものです。

日本国内で流通しているの全然見ませんね。

ライセンス的になんかあるのでしょうか。調べてはいませんが。

AIX1.3の記事のところでも書きましたが、Power5のマシンを所持しており、なるべく早急に環境構築などしたいのですがいかんせん時間が。。。

マイナーOS系というよりは個人的な環境構築をやりたい最優先OSですね。

なお、AIX、HP-UX、Solaris全て所持しており、派手に動かしてみたいのですが、環境って一回ばらすとなかなか再構築の時間取れませんね、、、(AIXは4.3環境、HP-UXは11.0環境、Solarisはx86

での10環境をバラしてしまい、新規Versionでの環境構築が出来ていない状況です)

2. BSD/OS



なかなかに入手経路が変わっていて、もうだいぶ昔ですが、秋葉原のジャンク屋の投売りボックスの中に入っていたのをかき集めて入手したものです。

BSDの名を冠した商用UNIXというのは珍しい気がします。

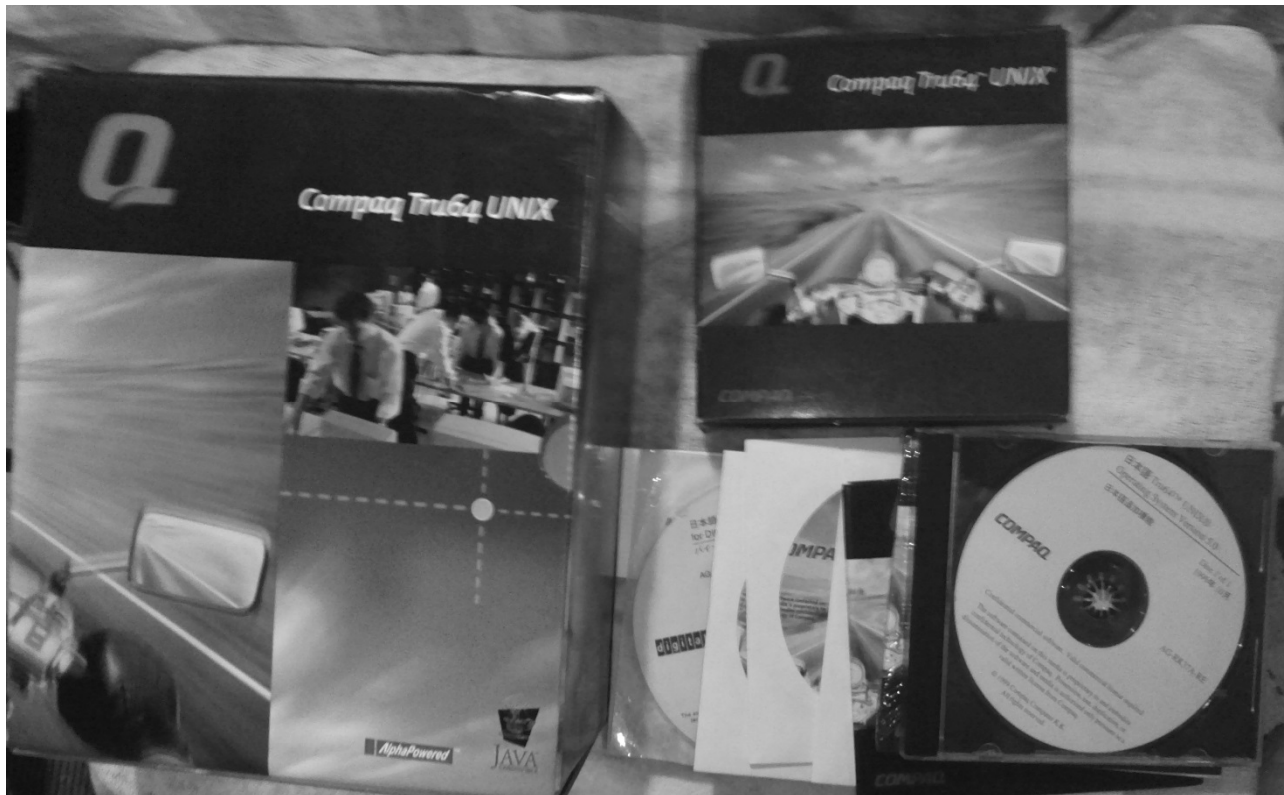
過去にインストールをしたことがありましたがもう忘却の彼方です。ただインストール後それほど細かくいじったりしていないので、次号で取り上げるかもしれません。

3. Digital UNIX/Tru64 UNIX



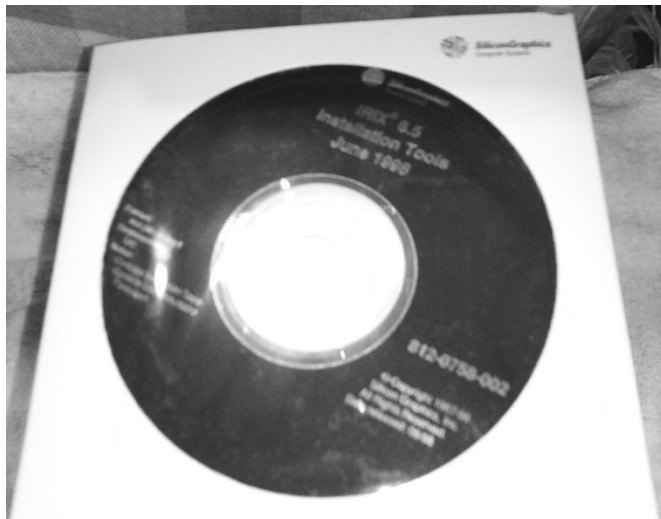
DecのUNIXです。こちらはたしかVersionが少し古いので、手持ちのマシンにはインストールで

きたか忘れてしまいました。



で、こちらの Tru64 は、手持ちの Alpha DS10 サーバにインストールは出来たはずですが。ただ、残念ながら Tru64 サーバは非常に動作が遅く、その後にインストールした Alpha 版 Debian GNU/Linux のほうがよほど処理が早いという残念なことになっていました。Alpha サーバもそういや最近使っていないなあ。。。過去には Alpha 版 Debian をインストールした状態で、ローカルでの CMS スクリプト評価用マシンとして使っていました。

4. IRIX





そういやこれももう Historical UNIX に含まれるんですね。
SGI 社の IRIX です。写真は Ver6.5 とそのアップデート(2000 年)になります。
自宅では一応 Fuel にインストールしてあるのですが、こちらも Octane で使っていたころはもう少しいじっていたのですが、最近は起動もろくに出来ていません。。。時間が取れるか怪しいですが、次回以降の記事に含めたいところです。

5. OS/400

最後だけちょっと変り種です。



IBM iSeries V5 OS/400です。

ただ、OSメディアのみで、実際にはライセンスメディアだか番号だかが必要になります。

あともっと言えば当たり前の話としてHWを所持していません。

前回のSony NEWSなどにもいえますが、完全に単なるコレクションですね。

IBMのサイトでパーツナンバーで調べれば、インストールメディアがそろっているかどうかは確認可能かと思いますが、そもそもむなしいので？細かくは調べていません。

よっぽど時間があればですが、たとえばエミュレータとかないのかなあとか調べてみようとは思っていますが、現状のマイナーOS実験計画には具体的にはまだ入っていません。

Far Northern Other World (Fnow) マイナーOS関連 活動紹介

・活動コミュニティ

Mixi :

http://mixi.jp/view_community.pl?id=550392

Otaba :

http://otaba.jp/?m=pc&a=page_c_home&target_c_commu_id=2373

Filn :

<http://filn.jp/communities/3726>

GoogleGroups :

<http://groups.google.fi/group/osmanix>

えー、実際のところもろもろあってMixiとGoogleGroupsくらいにしかきちんとアナウンスできていません。

毎号の原稿募集、その他アナウンスを行うのが中心ですが、MixiではいくつかマイナーOS系の話題を扱うトピックがあります。

まだコンテンツが豊富とは言い難いですが、当方のマイナーOSネタサイトは以下になります。

Far Northern Other World マイナーOSコンテンツ

<http://fnow.org/>

昨年末に活動をようやく再開したレベルなので、まだまだですがなんとかもう少し時間を確保したいです。

・参加イベント等

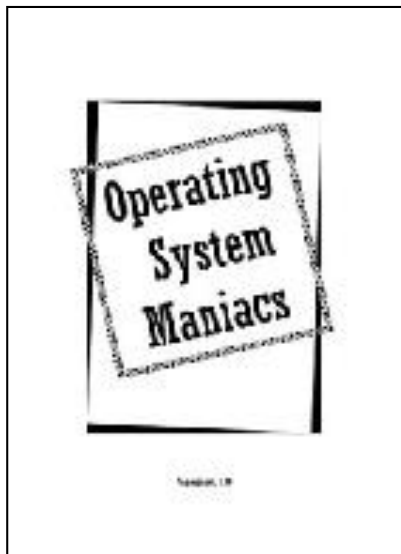
コミックマーケット、及びコンピューター関連の即売会が開催されれば、極力参加しています。

2014年12月の冬コミ87から活動再開してたりします。

マイナーOS本作成以外の活動ももう少しやってみたいとは思っていますが、良い企画がなかなか思いつかず、基本的に本書の頒布と、マイナーOSデータベースの更新が主要な活動となっています。

既刊のご案内

Operating System Maniacs Version 1



2006年夏：Ver1.0 2008年夏：Ver1.1 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ：

【悲運の正統UNIX】UNIXWAREを語る（りろ@涅槃）

SSS-PCを動かしてみる

【悲運の先端OS】OS/2～eComStation（りろ@涅槃）

QNXのインストールと環境設定（立神梢一）

【マイナーOS】SkyOS Beの遺伝子を受け継ぐ「まぜこぜ」OS（りろ@涅槃）

記念すべき第一号。Webで知り合った、マイナーOSの同志、りろ@涅槃氏にもご寄稿いただき、それなりのボリュームになった。当方はSSS-PCとQNXのインストール、設定記事を執筆。

実際の表紙は、用紙：アトモスブラック インク：薄い茶 となっています。

Operating System Maniacs Version 2



2007年夏：Ver2 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ：

ChorusOSを動かしてみる（立神梢一）

PS2LinuxをDVD-ROM無しで起動する（立神梢一）

マイナーOS求む（立神梢一）

NEC国産OSへの鎮魂曲（りろ@涅槃）

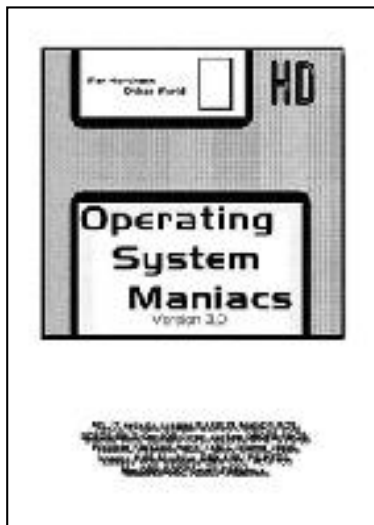
OSとしてのVMWare ESX Server（りろ@涅槃）

長い間の悲願であった、Chorus OSの導入記事と、いまさら感が漂いますが、PS2Linuxの導入記事を掲載しています。

りろ@涅槃氏にも前号に引き続きご寄稿いただきました。

実際の表紙は、用紙：色上質サーモン、インク：赤 となっています。

Operating System Maniacs Version 3



2007年冬：Ver3 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ：

Intel MacminiでマルチOS/マルチブートの試み（りろ@涅槃）

PS2 Linuxをいじってみる ちょっとだけ後日談（立神梢一）

PTOSと過ごした80年代（りろ@涅槃）

マイナーOS駆け足レビュー（立神梢一）

(AELIX/artasia/asagao/BARBUX/blairoS/BOS/BOZOS/BRIX/ContOS/coron/Darkos/DROPS/FDOS/Freedos/FRITZOS/Hanoi/Idioma/jxOS/knasos/KOS/Moubius/QNX/UUU)

本号から駆け足レビューを開始。とにかく数を紹介したいとの考えからでした。

実際の表紙は、用紙：色上質水、インク：藍 となっています。

Operating System Maniacs Version 4



2008年夏：Ver4 発行

A5サイズ/オフセット/52P 300円

主なコンテンツ：

グランドピアノストにもっと巧く演奏させよう（ZETA Live CD）（SHINTA）

OS9000/80386 DemoFloppyをPCで動かしてみる（立神梢一）

マイナーOSを実用化する（りろ@涅槃）

マイナーOS駆け足レビュー PartII（立神梢一）

BugOS/POSYS/proolix/Roadrunner/runt/scaraOS/SMUGLYOS/ShagOS/SORA/spoon/SUNRISEOS/threx/Triangle/ZOFTOS/ μ nOS

BeOS系アプリケーションの開発等で活躍しているSHINTA氏からご寄稿いただき、いつもより増ページとなりました。りろ@涅槃氏も皆勤でご寄稿いただき、ありがたい限りです。

実際の表紙は、用紙：アトモスレッド、インク：あずき となっています。

Operating System Maniacs Version 5



2008年冬：Ver5 発行

A5サイズ/オフセット/32P 300円

主なコンテンツ：

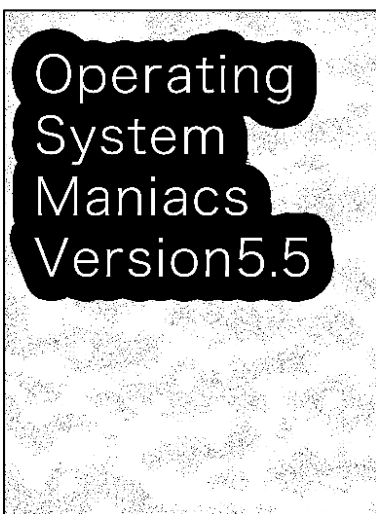
90年代の幻影を求めて AmigaOSの香りを今に伝えるSyllableを試す（りろ@涅槃）

マイナーOS駆け足レビュー PartIII

bgsystem/MDF/PJOs/RadiOS/SARTORIS/Tesoro OS/tijos/tizozos/t0fuS/Torison/trion/TYROS/viridis

このころから時間が取れなくなってきた、ちょっとページ減しています。ネタはゲップするほどあるんですが、こなす時間が無いのがつらいですね。。。表紙は色上質特厚若草、インクは黒、本文はさくら/インクは黒となっています。

Operating System Maniacs Version 5.5



2009年12月30日：Ver5.5 発行

A5サイズ/コピー/24P 300円

主なコンテンツ：

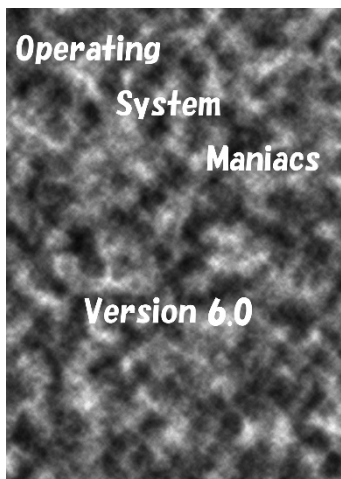
マイナーOS駆け足レビュー Part4

VSTa、MikeOS、DS Linux(2009年夏のコミックマーケット時にペーパーとして配布したものの再掲)

オフセット印刷で発行できずついにコピーになっています。

Operating System Maniacs Version8.0

Operating System Maniacs Version 6.0



2010年夏:Ver6.0 発行

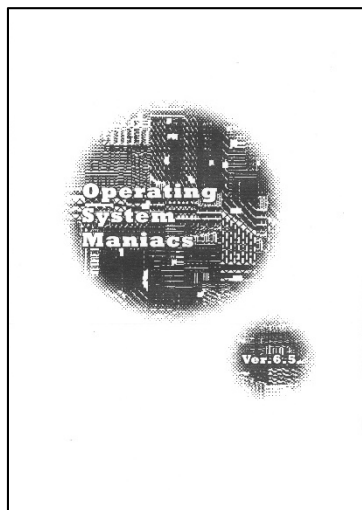
A5サイズ/コピー/24P 300円

主なコンテンツ:

マイナーOS駆け足レビュー Part5

AROS、HAIKU、HOUSE

Operating System Maniacs Version 6.5



2011年夏:Ver6.5 発行

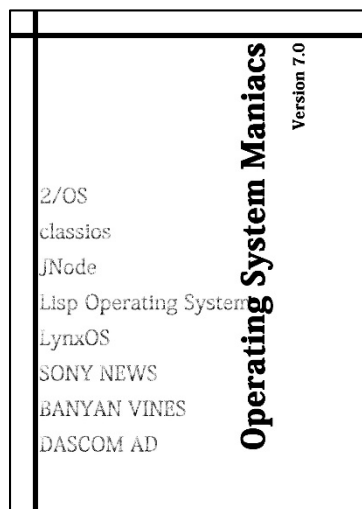
A5サイズ/コピー/32P 200円

主なコンテンツ:

マイナーOS駆け足レビュー Part6

BlueBottle、MINIX3、infortus-os

Operating System Maniacs Version 7.0



2014年冬:Ver7.0 発行

A5サイズ/コピー/36P 300円

主なコンテンツ:

マイナーOS駆け足レビュー Part7

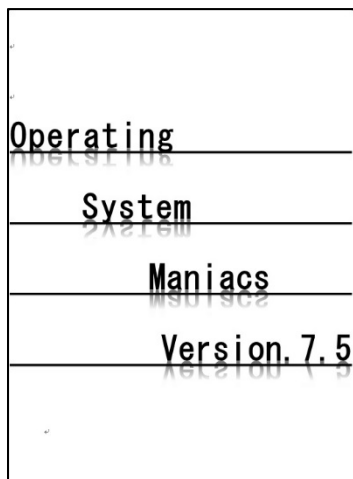
2/OS、classios、JNode、Lisp Operating System、LynxOS

マイナーOSコレクション

SONY NEWS、BANYAN VINES、DASCOM IntraVerse WebStarter

東芝 日本語UX/386 基本部、

EPSON PC-286シリーズ用日本語Disk BASIC



2015年7月:Ver7.5 発行
A5サイズ/コピー/xxP 300円
主なコンテンツ :
マイナーOS駆け足レビュー Part7.5
Symobi
BANYAN VINES

DVD版

Version1～7.5 + おまけファイル等で構成されています。

基本的にはPDF版の各Versionと、それぞれで実験したOSのファイルを同梱しております。

既刊は定期的にデジタルデータとしてご提供しております。

イベントによっては気まぐれに再版していく場合もあります。

原稿募集要項

立神梢一

Operating System Maniacsでは、常時、原稿を募集しています。

マイナーOSの導入/環境構築記事

旧UNIX系OSの紹介記事

マイナーOSの紹介記事

異種アーキテクチャへのLinux/BSD系OSなどの導入/環境構築記事

現在/過去のOSに関連する業界動向

特定OSへの偏愛を吐露するコラム

等々。。

ただしマイナーOSと銘打っている以上、できるだけ、以下のOSについては触れないつもりでいます。

1. Windows 特に2000以降
2. x86用のLinux 特に有名ディストリビューション
3. MacOS 特に9.x及びX

無論、たとえばマイナーなアーキテクチャへの導入関連や、マルチブート環境、エミュレータを使ってのお遊び、などであれば大歓迎です。

あるいは組み込み用OSをいじるケースなどでは、母艦がWindowsということもあるでしょうし、そういうケースは当然ながら特に問題ありません。

実際にはそんなに厳密な決めではないのですが、一応マイナー系OSということを意識するために上記のようにしています。

また、旧Versionで面白いことが出来るケースもあるかなと思い、特に1と3については上記のようにしております。我もと思う方は、是非ご参加ください。

また、原稿ということでもなくとも、情報提供、レビューのリクエスト、素材の提供等も歓迎いたします。特に以下のものについては、入手困難なこともあり、大歓迎いたします。

・ハードウェアはない、あるいは導入予定はないが、古いOSのインストールメディアを所持している。

⇒たとえば、EWS-UX、NetWare、SCO UNIX、、、など

・逆に、OSは持っていないが古いハードウェアを所持している。

⇒SONY NEWS、EWS4800、BeBOX、、、など

その他、NWアプライアンスの搭載OSについての考察や、ポーティング情報等も歓迎いたします。また、原稿と言うことでなくとも、記事内容に間違い等がございましたら、ご指摘いただけますと幸いです。

主にWordでのレイアウトまで含めた原稿か、テキスト+画像でこちらでレイアウトする形になるかと思います。(画像挿入位置は個別で指定)

ただし、ページ構成上の都合や、全体のフォント、サイズ合わせ等で若干の変更をさせていただく場合があります。(その場合は変更後の確認をお願いした上で変更します)

詳細は奥付、または活動コミュニティなどへお願いいたします。

編集後記。。。

やっちまった感じです。

全然時間が取れませんが、肝心のOSのインストール、起動実験がまったく持って十分にはできませんでした。

ただテーマを決めておくのは面白いかなあと思うので、今後なるべく全体テーマを決めてやりたいかなあと思っております。

ただ今回まったくもって十分にできてないので次回、確定事項ではありませんが、一応次回はリベンジ、というか続きをやりたいと思っています。

で、前にも書いたことがあります。ざっと今後用のネタ出しだけしてみます。

- ・ Historical Windows
 - ⇒ Windowsを1.0から3.0まで延々インストールしてみる
- ・ スーパーマルチブート実験
 - ⇒ とにかく手を変え品を変え1台のPCにどのくらいOSはインストールできるのか？
- ・ いまさらDOS用GUI
 - ⇒ DOSの上で動作するGUIやウィンドウマネジャー的なものを特集してみる
- ・ Game Hard On UNIX/Linux
 - ⇒ PS2、DSLlinuxとやってしまったので、残るはドリームキャストON NetBSDくらいですが。
ゲームキューブとかゲームボーイ上でUNIXみたいなものもありますが、ちょっとハードウェア周りの支出が多いのが玉に瑕か？
- ・ マイナーOS環境構築実験
 - ⇒ BluebottleやHAIKU、QNX、などメジャーではないOSでサーバを立ててみたいなど。
- ・ エミュレータ特集
 - ⇒ PDP-11とかOctaneとかあと何があったか。。まあとにかくメジャーなものではなくてももう少しマニアックな？エミュレータを取り上げてみる。ただそれをやるなら本物のHW入手した上で実験したい気もあるので悩ましいところ。

なお、いまさら感があるネタも多いですが、そこはそれ。というか何でいまさら、なことをわざわざやるのが面白いので、まあそこはツッコまないでいただければ。

ChromiumOSとかをネットブックに入れてみたり、Androidを医療用PC端末に入れてみたりといった方向性も面白いのですが、できればもっとマイナーなOSをいじくってはニヤニヤしたいです。

ただだんだんOld PC(特殊アーキテクチャ)を入手しないとダメなケースが増えてきそうで悩ましいですが。

立神梢一

奥付

Operating System Maniacs Ver8.0

発行：「Fnow」

〒113-0034

東京都文京区湯島3-37-4 ガーベラ天神8F

佐藤誠之(立神梢一)

印刷

秋葉原製作所

2015/8/16発行 (コミックマーケット88)

「Operating System Maniacs」

Far Northern Other World